

## 議 事 録

会 議 名	第7期第6回寒川町まちづくり推進会議（案）
開 催 日 時	令和3年10月14日（木）午後3時 ～ 午後4時20分
開 催 場 所	自宅等、寒川町役場東分庁舎第2会議室（オンライン開催） 傍聴：議会第2会議室
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>○出席委員 杉下会長，落合副会長，半澤委員，安江委員，上山委員 山下委員，大関委員，大久保委員，金子委員，高崎委員 庭野委員，平本委員，井村委員，菊地委員</p> <p>○欠席委員 竹森委員，相田委員</p> <p>○事務局 戸村町民部長，岡野町民協働課長，越原副主幹</p> <p>○傍聴者数 1名</p>
議 題	<p>(1) 寒川町まちづくり懇談会（案）について</p> <p>(2) （仮称）いまここマップの作成について</p>
決 定 事 項	<p>1 議事録承認委員：庭野委員，平本委員</p> <p>2 まちづくり懇談会（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会テーマを下記3つに絞った。</li> <li>1) いざという時に備えた地域のつながりについて（災害対策）</li> <li>2) 私が町と力を合わせてしたいこと（協働・住民活動）</li> <li>3) 住みたくなる町寒川について（移住定住・まちづくり）</li> <li>・参加人数の上限を20名から15名に変更。</li> <li>・コーディネーターは、杉下会長に決定。</li> </ul> <p>3 次回会議の審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり懇談会（案）のブレイクアウトルームの使い方について、杉下会長と事務局で話し合い、報告する。</li> <li>・まちづくり懇談会（案）のテーマと進行方法を検討する。</li> <li>・いまここマップがA3、1枚に収まるようなレイアウトにする。</li> </ul> <p>4 次回会議は、11月25日（木）午後3時からに決定。</p>

公開又は非公開の別	公開	非公開の場合 その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 委嘱状交付</p> <p>4 新任委員自己紹介</p> <p>5 議事録承認委員の選出</p>		<p>【事務局】まちづくり推進会議では、当日の出席委員のうち、名簿の上から順に持ち回りで議事録承認委員を指名しております。前回、議事録承認委員を務められました、10番竹森委員、及び11番高崎委員に続きまして、今回は12番の庭野委員、及び13番平本委員を御指名したいと思います。異議がございませんようでしたら、マイクはミュートのままで結構ですので、会議資料と一緒に送付いたしました青色の「異議なし」と書かれた札をカメラにお見せください。</p> <p>(各委員、「異議なし」の意思表示あり)</p> <p>【事務局】それでは、庭野委員、平本委員、御承諾いただけますでしょうか。</p> <p>(庭野委員、平本委員「異議なし」の意思表示あり)</p> <p>【事務局】ありがとうございます。今後もお手元の青色の「異議なし」、及び赤色の「質問・意見」と書かれた札につきましては、会議中ミュートの際にも御意思をお伝えいただく方法としてご活用いただければと思いますので、よろしく願いいたします。では、議題に移る前に、傍聴者が1名いらっしゃいますので、入室していただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(各委員、「異議なし」の意思表示あり) (傍聴者、入室)</p> <p>【事務局】ありがとうございます。それでは、ここで議題のほうに入りますので、進行を杉下会長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>【杉下会長】それでは議題1につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>

## 6 議題

### (1) 寒川町まちづくり懇談会（案）について（資料1・2）

【事務局】-資料1・2に沿って説明-

【杉下会長】ありがとうございます。事務局の説明に対して、御質問や御意見等ございましたら、赤色の「質問・意見」と書かれた札をあげていただけますでしょうか。安江委員、お願いいたします。

【安江委員】まちづくり懇談会の趣旨の中で「課題の解決策についてそれぞれの地域において考え合う」「地域が中心的組織となっていくことを目指す」ということを大きな目標として掲げていただけていますが、これで良いのでしょうか。まずはこの確認をさせていただいて、次の質問に続けたいのですがよろしいですか。

【杉下会長】事務局、お願いいたします。

【事務局】それぞれの地域で、課題の解決について話し合い、将来的には解決の実行まで行えることを、まちづくり懇談会の最終的な理想としています。町への要望の場ではなく、自分たちは地域でこのような活動をしているといった情報を皆さんからお話ししていただき、町長を交えて、そのお話を発展させていただくイメージが正しいかと思えます。このような懇談会を目指していることから、趣旨の方に書かせていただいた次第です。

【杉下会長】安江委員、続きをどうぞ。

【安江委員】ありがとうございます。1回2時間の懇談会だと打ち解けて話すレベルになると思います。要望を言うだけではなく、きちんと課題解決につなげたいという、この趣旨自体は私は良いと思います。1回2時間の懇談会をやることで、どこまで到達できるイメージを、事務局は持たれていますか。

【杉下会長】事務局、お願いいたします。

【事務局】まちづくり懇談会でいただいたご意見につきましては、庁内の各担当課に問い合わせて回答を作成し、議事録にまとめ、それを御発言された方に見ていただく流れになります。町ホームページに過去のまちづくり懇談会の議事録がまとまっておりますので、ご覧くださいと思います。

【安江委員】ありがとうございます。追加でもう一点質問いたします。過去の議事録を見たのですが、結構テーマのサイズが、大きいと思います。テーマのサイズが大きすぎると、結局話してもどうしたら良いのか分からず、担当課へ振っても、そのやりとりもあまり見えない状態になってしまうと思います。ですので、例えば今回のテーマの内、「いざという時に備えた地域のつながり」ではなく、「地域の障害者の方の災害施設の確保ができていない」といった町長の手紙に出ている内容を掘り下げるなど、少しテーマのバイトサイズを考えてあげると良いと思います。既に町長の手紙や、町に提案書を出されている方たちもいるという話を伺っています。実際に町に意見を上げている方も知っているので、もし具体的に出してくれと言われれば、こちらからこんな話をしていますよと上げることでもあります。バイトを下げることと併せて、時間も検討すべきかと。2時間で課題解決というのはかなり厳しいので、2月から3月にかけて複数回行ったり、1回4時間と時間を延ばしたりすると、もう少し充実したものになると感じましたので、提案させていただきます。

【杉下会長】事務局、お願いします。

【事務局】ありがとうございます。まさしく今回のテーマについては、過去のまちづくり懇談会におけるアンケート結果を踏まえて、話しやすい内容を提示させていただいております。テーマが大枠のものになっている理由としましては、過去の経験から、テーマを絞ると、発言が出にくいことがあるため、多くの参加者が御発言しやすいようにしております。また、解決に向けてという部分については、過去の事例といたしましては、神奈川県立寒川高等学校の生徒との懇談会にて、バンドやダンスの発表の場が町内にないとのお話をいただいた際には、わくわくブックマーケットと調整し、3月の古本市にて発表をさせていただきました。その場で解決するというのは難しいですが、担当課に問い合わせ、解決させていただけるものもあれば、ご意見を基に別の方向に発展していくこともあると思います。福祉や公園といった個々の細かいテーマに関しては、それぞれ審議会等があるので、そちらで議論していただくことが適切なように感じます。

【杉下会長】安江委員、よろしいでしょうか。

【安江委員】今の話だと、解決は別にやりますと聞こえるので、趣旨は「課題解決を目指す」ではなく、「意見の吸い上げ」が適切かと。今回懇談会をやるに当たって、趣旨をお示しするわけなので、その表現をはっきりさせた方が良いと思います。

【杉下会長】事務局、お願いします。

【事務局】まちづくり懇談会の趣旨としては、課題解決策の実行までを目指すという風になっていますが、ケースバイケースな部分もあるかと思えます。頂いたご意見に対して、担当課に確認させていただきたいケースもあれば、先ほど申し上げた事例のように、その場で解決方法をご提案できるケースもあります。

【杉下会長】安江委員、よろしいですか。

【安江委員】私ばかりしゃべってもあれなので、大丈夫です。

【杉下会長】では、御意見として事務局、精査してください。ほかに、御意見御質問等あれば。菊地先生、お願いします。

【菊地委員】皆さん、お久しぶりでございます。今、安江委員の御指摘について、なるほどなと思ひ、聞かせていただきました。趣旨としては地域での課題解決を担う、そういったものを目指すという壮大なミッションとして書かれていますが、実際は時間的な制約、内容的な制約から、その入り口で留まってしまっているのだと思います。今回、Z o o m開催することによる良さというのは、参加者に対してプッシュの情報提供をし続けられることだと思います。例えば、町で何かやってみたいのであれば、みんなの協働事業提案制度がありますよ。審議会の公募委員の情報です。といった情報提供ができます。このまちづくり懇談会の登録時に、関連する情報を送信する取り付けを行うと、次に繋がりやすくなるということがあります。また、日程がフィックスしているということを考えますと、この日に参加しやすいターゲットに絞って、一番刺さりやすいテーマを議論できると良いと思います。また、上げていただいているテーマの中で、「私が地域のためにしている活動」というのは、既に何か活動している人しか参加できないというような印象を与え、且つ、活動されている方は、週末の日中に活動されているケースが多いと思います。2月の土曜日に初めてZ o o m開催することを考えると、そこに集まりやすい方のテーマを選ぶ方法も、テーマ選出の仕方の戦略として一つあるのかなと思いました。加えて、過去のまちづくり懇談会参加者に、今回も参加していただき、事務局だけではなく、参加者の立場から見た、対面実施とのビフォーアフターを見るべき。オンライン会議後に、G o o g l eフォーム、M i c r o s o f tフォームズ等を用いて、リンクからすぐにアンケートを取り、オンライン開催の参加者満足度を図るべき。コーディネーションを我々推進会議が行うということであると、我々の1つの試みですので、我々の取り組みがどのような評価を受けるのか、織り込む形で設計すると良いと思います。

【杉下会長】ありがとうございます。事務局、何かございますか。

【事務局】ありがとうございます。最初は、オンラインによる新たな層へのアプローチを念頭に置いてきたのですが、今まで参加された方にビフォーアフターを見ていただいた方が良いという御意見に納得いたしました。今回の反省点や今後の改善点について、まちづくり懇談会後のまちづくり推進会議にて、ぜひ話し合っていたいただきたいと思いますので、今までの参加者にもお声がけしてみるのも良いと思います。ただ、これまでのまちづくり懇談会では自治会関係の方が多く、Z o o mを使われる方が少ないかもしれませんが、ぜひ前向きに検討したいと思います。ありがとうございます。

【杉下会長】ありがとうございます。ほかに御質問や御意見ございますでしょうか。半澤委員、お願いします。

【半澤委員】2つほど質問します。1つ目に、現在新型コロナウイルス禍のため、オンライン開催も一つの方法だと思いますが、今後はオンライン開催が主流になるのでしょうか。リタイヤしており、普段パソコンを利用しない方には、参加が難しいと思うので、そういった方が参加できる場所も考慮すべきだと思います。2つ目に、過去のまちづくり懇談会で出た意見等データに基づいて、テーマ決定すべきだと思います。テーマが広すぎるとのお話もございましたし、パソコンでの方法を考えるのも良いですが、テーマをちゃんと決めないと、短時間で解決まではいかないのかなと思いました。

【杉下会長】半澤委員から2点御質問がありました。事務局からお願いします。

【事務局】ありがとうございます。まず今後、Z o o m開催が主流になるのかということですが、今回は新型コロナウイルス感染症対策が前提にあったため、オンライン開催にさせていただきました。オンラインによる新たな層へのアプローチが出来、常連の参加者の皆さん以外にもアウトリーチできる実験的な取り組みをまちづくり推進会議が主体となり行ってみるのも良いとのお話から、今回オンライン限定の懇談会にいたしました。新型コロナウイルス収束後は、ケースバイケースでオンラインを取り入れたいと考えております。例えば、普段寒川町での会議に参加しづらい方に参加していただく際にはオンライン形式、地元の方のご意見を伺う必要がある際や、団体からの要望がある際には、対面形式といったように使い分けたいと思います。2つ目に、過去の経験上テーマが狭いと参加者の話が弾みにくい傾向にあるため、話しやすい広めのテーマにしようと考えていたのですが、皆さんからテーマを絞ったほうが良いのご意見もございますので、改善したいと思います。広報掲載の関係で、本日テーマを決めたいのですが、別案、もしくは改善案があれば伺いたいです。よろしく願いいたします。

【杉下会長】半澤委員、いかがですか。

【半澤委員】例えば一番上のテーマは100名程度の人が出ています、2番目のテーマは、50名程度の人が出ていますといったように、統計的にどれだけの人が求めているテーマなのか示した上で絞ったほうが良いということをお願いいたします。

【杉下会長】事務局、お願いします。

【事務局】前回の会議資料3にて、テーマに関するアンケートの集計結果をお示しさせていただきました。集計結果の中で、テーマとしてご意見が多かったのが「行政と町民の協働」で、地域活動の推進をさらに細分化して一番多かったのが「地域の安全安心」でした。これらのデータに基づいて、テーマ一つ目の「いざという時に備えた地域のつながりについて」を上げさせていただきます。また、他に比較的ご発言を多くいただいているテーマについても同列で上げさせていただきます。

【杉下会長】半澤委員、よろしいでしょうか。

(半澤委員、頷きあり)

【杉下会長】では、ほかに御質問や御意見はございますでしょうか。無いようですので、私の方から。町長への手紙や提案書を出すといっても、なかなか伝言ゲームのようになってしまったり、文章だけでは伝わりきらない熱意もあると思うので、直接町長とお話ができる機会は貴重だと思います。こういう形で町長に直接お話しすると、町長がいい意味でのトップダウンで、「じゃあ、これやろうよ」というような気づきやきっかけづくりに出来ると思います。また、進行管理、時間配分の観点から考えると1回5テーマは多いと感じます。3つくらいに精査して、なるべく意見のやり取りが出来るような時間配分を検討すべきだと思うのですが、この辺りは今日中に決定しないといけませんでしょうか。

【事務局】説明が不足してしまい、申しわけございません。テーマについては、今日絞っていただきたいと思っております。1つにテーマを絞ったのちに、もう少し深く掘り下げる部分も考えていきたいです。それと、参加人数を最大で20名としておりますが、あくまで最大ですので、話す時間を確保するという点から、もう少し人数を減らしても良いかと思っております。

【杉下会長】Zoom上で人数が多いと、画面が小さくなり、ページを跨いでしまうと、挙手が確認しづらくなってしまいます。本日のZoom会議がまさに運用上のトライアルと捉えるところもあると思います。初めてのZoom会議ということもありますし、15名ぐらいにしても良いと個人的には思います。その後のまちづくり推進会議で、内容的なことや、当日の進行的なところの検証を報告していただき、次年でより円滑に進めるためにはどうすべきかに繋げていきたいと思います。あと、テーマに関してご意見はございますか。事務局から提示された5つのテーマについては、どのような根拠に基づいて決められたのか、先ほどからご説明いただきました。次の議題もあるのですが、テーマは今日でなくても近々事務局にお伝えして決めることにしてもよろしいでしょうか。

【事務局】ありがとうございます。まず、会長から参加者上限は15名にしてはどうかというお話がございました。20名超過した場合は抽選にしようと考えていたのですが、例年、まちづくり懇談会の参加者は10名台前半程度ですので、これまでの参加者にお声がけしたとしても、今回も15名に満たない可能性はありますので、上限15名は妥当だと思います。また、テーマについては、広報11月号への掲載で参加者を募るので、12月には発表したいと考えております。広報掲載のメ切りが今週で最終決定になっておりますので、今回のまちづくり推進会議で決めていただきたいと思いますと思っております。広報に「テーマ(予定)」という記載をして、後々変更する方法もございますが、やはりテーマを見て参加希望を決める方が多いと思いますので、今日ここで決めさせていただければと思っております。すみません。

【杉下会長】例えば、テーマは後日、ホームページで掲載をしますというような柔軟な対応は、事務局の作業的に可能ですか。

【事務局】11月広報掲載し、11月末をエントリー締め切りにするスケジュールで考えておりましたが、後ほどお話いたしますので、次回まちづくり推進会議を11月25日に予定しておりますので、仮にテーマ決めをこの日にするとすると、エントリー締め切りを12月にずらさざるを得なくなるかと。11月25日までに委員の皆さんにアンケートを取るような方法もあるかと思いますが、現時点である程度絞ったほうが、スケジュール的にもよろしいかと思えます。

【杉下会長】ありがとうございます。5つのテーマの上から3つにしてはいかがかなと。「いざという時に備えた地域のつながりについて」と「地域の安全安心について」は災害対策関連で似た案件であり、また、「私が地域のためにしている活動」はみんなの協働事業提案制度の内容と被るのかなと思えますので。「いざという時に備えた地域のつながりについて」は災害

対策、「私がまちと力を合わせてしたいこと」はまさにまちづくり推進会議として協働事業や、行政と町民がどのようにしていくかというところの意見の吸い上げ、「住みたくなる町寒川について」は人口減という大きな課題もあるので、やはり新しい寒川の発信の仕方、魅力発信についてということで、これら3つのテーマに絞らせていただきたく思います。今後の検証の中で、テーマの良し悪しを考えていきたいのですが、よろしいでしょうか。よろしければ「異議なし」の札をカメラに見せていただいて。

(各委員、「異議なし」の意思表示あり)

【杉下会長】ありがとうございます。本会議も初めてのZoomという事で、良い点、悪い点、いろいろあると思うので、しっかりまちづくり推進会議で検証するという事で、今回は上3つのテーマで絞らせていただきたく思います。ありがとうございます。あとは、コーディネーターを今日決めないといけないと思うのですが、他に決めなくてはならない項目は何でしょうか。

【事務局】テーマ決めとコーディネーターです。コーディネーターにつきましては、会議の司会進行に長けた方をお願いしたいと思います。また、土曜日に2時間ご出席いただくとのことなので、通常のまちづくり推進会議と同じ謝礼を御用意する予定でございますので、併せてよろしく願いいたします。

【杉下会長】コーディネーターに関して、まずは、まちづくり推進会議の委員からやってみようということです。今回積み上げの経緯も承知している方々ですので、推薦、自薦、他薦、何かあれば皆さんのほうからお願いをしたいと思います。落合副会長。

【落合副会長】2時間でこれだけのテーマを絞るということになると、Zoomの司会経験者であり、やはり代表の杉下会長にさせていただいて、その後皆さんでブラッシュアップして、実行していきたいと思いますので、ぜひ私は杉下会長にさせていただきたいのですが、皆さん、いかがでしょうか。ぜひ我こそはという方がいらっしゃったら。勝手に推薦してしまい、申し訳ない。

【杉下会長】すみません、いきなり推薦で。ほかにはいらっしゃらないですかね。そうしたら、今回はとりあえず言い出しっぺの1人でもある私のほうでさせていただき、私のやり方のいたらなかった点を、まちづくり推進会議にて御意見等いただければと思います。今後、進め方に関しては、今、課題や宿題も出ましたので、事務局と調整をして次回会議で報告させていただき、2月5日はこんな流れで臨みますということをつい

スした形で御提案できるように調整をさせていただきたいと思  
います。議題の（１）まちづくり懇談会は、これで一度締めさ  
せていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。続  
きまして、議題の（２）（仮称）いまここマップの作成につい  
て。まず、事務局のほうから御説明をお願いいたします。

**（２）（仮称）いまここマップの作成について（資料３～５）**

**【事務局】** -資料３～５に沿って説明-

**【杉下会長】** ありがとうございます。これについて、何か御意  
見、御質問等ございましたらお願いいたします。では私のほう  
から、細かい表現ですが、資料４の２０１９年度のところの真  
ん中あたりに（会議）とありますが、この日程が実際行われた  
日程と違うように思うのですが、仮に入れた日程なのでしょう  
かということと、８月１日、１０月１日、次回１月１０日の内、  
「次回」という言葉は要らないと思ひます。さらに、２０２０  
年になると会議そのものが書かれていないのですが、会議は何  
日程かやっているとと思うので、そこも記載したほうが良いと思  
ひます。会議無しで１年間終わってしまうように見えるので。  
ほかに何かございますでしょうか。菊地先生、お願ひします。

**【菊地委員】** 非常に分かりやすいものを作っていたいただいて、大  
変助かりました。資料５では、一覽性をもって見ることはでき  
ます。そのうえで、資料４にてさらに個々のものが見られるよ  
うなイメージだと思ひます。ただ、資料５の星印の進捗状況が  
どちら側から見れば良いのか分かりづらいです。普通に左から  
右に白色の星で進んでいくのかなと思うのですが。このマップ  
だと、計画が作られることが、進捗状況の５つ星のゴールにな  
っていると思ひます。計画をつくる際に、住民参加であるとい  
うことで公募は入っています。ですので、そのあたりに星が２  
つ目、３つ目と進んでいき、住民参加でつくった公募にさらに  
例えば公募機会を逸した方にはパブコメというのが入ってき  
て、４つ目のあたりに星がありますよ。そして、計画は完成し  
ますよということとゴール自体が星５つ目になっていると思ひ  
ます。しかし、実際の施策というのはいそこから始まるみたい  
なところもあり、進捗状況のゴールというのはい、あくまで計画  
づくりのゴールであります。施策そのもののゴールというとい、  
そのあたりが誤解されないと良いかなと思ひます。始まりをつ  
くるためのゴール、そういう言い方をしたらよろしいでしょうか。  
念のために申し上げておきます。

**【杉下会長】** ありがとうございます。事務局のほう、御説明お  
願ひします。

【事務局】おっしゃるとおりだと思います。資料4で見ると、表面の一番下が「プラン案が完成」となっており、そこが資料5の星5つ目に該当するものだというふうに考えていたのですが、計画は完成したら終わりではなく、完成した後に3、4年のスパンで改訂や見直しを行い、進捗状況を管理する委員会、審議会にてPDCAを管理していくと思います。このマップでは計画が動き始める前の、計画を完成する段階の進捗状況を示させていただいております。星印については、黒い星を無くしたほうがよろしいかと思いました。ありがとうございます。

【杉下会長】菊地先生、よろしいですか。

(菊地委員、肯定の意思表示あり)

【杉下会長】ほかに御意見御質問等あったらお願いをいたします。半澤委員、お願いいたします。

【半澤委員】非常に分かりやすくなったので、これ以上フォーマットが改善する必要も無く、これ以上論議する必要がないのかなと思うぐらい分かりやすいので、良いかと思えます。ただ1点、せっかくなので、裏面に続くのではなく、A3で1枚ぐらいに収まるような改善をしていただければよろしいと思えます。

【杉下会長】ありがとうございます。確かに裏面に気が付かないこともあるかと。

【半澤委員】せっかくなので、A3で1枚に収まるようなほうがよろしいのではないかと。

【杉下会長】うまくレイアウトを工夫していただいて1枚に収まるほうが確かに見やすいですね。お願いします。ほかに御意見御質問ございますでしょうか。かなりシンプルにまとまったと思うので、よろしいでしょうか。では、これで議題(2)のほうは終了させていただきたいと思えます。ありがとうございます。では、続きまして7報告の(1)寒川町みんなの協働事業提案制度(令和4年度)実施事業提案団体プレゼンテーションについて。事務局から御説明をお願いいたします。

## 7 報告

### (1) 寒川町みんなの協働事業提案制度(令和4年度実施事業)

【事務局】ありがとうございます。それでは、寒川町みんなの協働事業提案制度提案団体プレゼンテーションについて御説明いたします。既に、9月13日付の通知のほうでまちづくり推進会議の皆さんにはお知らせいたしました。もし御都合がつかまりましたら、傍聴の御案内をさせていただいております。プレゼンテーションにつきまして、緊急事態宣言中でありました

9月30日から11月12日に延期となりましたのでご承知おきください。また、まちづくり推進会議より選考委員に御推薦をいただきました杉下委員、半澤委員、上山委員におかれましては、当日午後1時からどうぞよろしくお願いいたします。

【杉下会長】ありがとうございます。これは報告なので何か御確認したいこととかは、特にはないですかね。大丈夫でしょうか。ありがとうございます。では他に。事務局お願いします。

【事務局】申しわけございません。少し補足させていただきます。11月12日なのですが、令和3年度提案団体の中間報告と、令和4年度提案団体のプレゼンテーションを同日で開催いたします。

【杉下会長】ありがとうございます。他はよろしいでしょうか。では、7番の報告は終了としたいと思います。続きまして、8番その他に入ります。事務局、お願いします。

## 8 その他

【事務局】次回のまちづくり推進会議の日程についてですが、11月25日木曜日の午後3時からを予定させていただきたいと思っております。なお、今回は集合形式での会議を考えております。状況によっては、正副会長とも御相談させていただきまして、オンライン形式での会議とさせていただく場合がございますので、御承知おきくださいますようお願いいたします。

【杉下会長】ありがとうございます。今回は11月25日に開催ということでございます。ほかに、何か委員さんから御意見御質問等ございますでしょうか。Zoomだと円滑に進むのでしょうか。想定より早く進行していますね。少し時間があるので、私から1点よろしいでしょうか。先ほどのまちづくり懇談会に戻りますが、留意事項検討事項の中で町長と懇談後、コーディネーターをつけたブレイクアウトルームをやるのかといったお話があったかと思うのですが、本日そのあたりに触れていなかったのです。コーディネーターは私が先ほど拝命を受けましたので、次回会議までに、本日決定したテーマや上限人数も踏まえて考えたいと思っておりますので、ブレイクアウトルームに関しては御一任いただくということでよろしいでしょうか。

(各委員、肯定の意思表示あり)

【杉下委員】では、そういう形で次回の会議に御提案をさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。ほかに、何かございますでしょうか。無ければ、今日の議題、及び報告は終わりましたので、進行を事務局のほうにお戻ししたいと思います。よろしく申し上げます。

	<p>【事務局】皆さん、今日はオンライン開催ということで、いろいろ不手際がございまして、申しわけありませんでした。閉会の御挨拶を落合副会長にお願いいたします。</p> <p><b>8 閉会</b></p> <p>【落合副会長】では、最後に御挨拶させていただきます。皆さん、Z o o mという新しい形での会議、お疲れさまでした。今後も新型コロナウイルスの状況によって、こういうことが起こりうると思うので、集まる人と集まらない人と仕分けて行うハイブリットという方法も、現在、いろいろな民間でやられているのでありかなと思います。また、杉下会長がZ o o mでコーディネートをやられるということで、そういうことも新しく行いながら、皆さんと一緒にまた、進歩的な会議を開けたらと思います。皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p>【事務局】皆さん、ありがとうございました。</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 寒川町まちづくり懇談会（案）</p> <p>資料2 寒川町まちづくり懇談会スケジュール</p> <p>資料3 上山委員提出資料</p> <p>資料4 （仮称）いまここマップ（例）</p> <p>資料5 各計画プラン等進捗状況一覧表（案）</p> <p>参考資料1 第7期寒川町まちづくり推進会議委員名簿</p> <p>参考資料2 寒川町パブリックコメント手続に関する規則</p> <p>「異議なし」「質問・意見」札 各1枚</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>庭野委員, 平本委員（令和3年11月22日確定）</p>